

新潟市教育委員会 令和5年1月 定例会会議録

日 時	令和5年1月16日(月) 午後3時30分			
場 所	新潟市役所 ふるまち庁舎 4階 教育会議室1			
教育長	井 崎 規 之		/	
出席委員 (8名)	田 中 賢 一		出席委員	乙 川 千 香
	渡 邊 純 子			中 津 川 英 子
	大 宮 一 真			畠 山 典 子
	五十嵐 悠 介		欠席委員	/
	齋 藤 昭 彦			/
会議出席 教育委員会 事務局職員 (15名)	職・氏 名		職・氏 名	
	教 育 次 長	池 田 浩	総 合 教 育 センター所長	小 林 圭 一
	教 育 次 長	本 間 金 一 郎	特 別 支 援 教 育 課 長	中 川 潔
	教 育 総 務 課 長	渡 辺 和 則	生 涯 学 習 センター所長	辻 村 理 恵
	保 健 給 食 課 長	袖 山 直 也	中 央 公 民 館 長	渡 部 和 人
	学 校 支 援 課 長	丸 山 明 生	教 育 総 務 課 課 長 補 佐	相 崎 敦 子
	地 域 教 育 推 進 課 長	後 藤 和 広		
	学 務 課 長	加 藤 浩 志		
	施 設 課 長	石 川 淑 朗		
	学 校 人 事 課 長	金 山 光 宏		
教 育 職 員 課 長	栗 林 裕 之			
他部署 出席者(1名)	文化スポーツ部スポーツ振興課 課長 寺尾 公酉			

開会	時刻	午後3時30分
	宣言者	教育長
付議事件 (1件)	議案第27号	新潟市スポーツ推進計画 第3次「スポ柳都にいがた」プラン に対する意見について
報告 (3件)	新型コロナウイルス感染状況について	
	令和4年度新潟市二十歳のつどい実施報告について	
	令和5年度当初予算について	

第1 開会宣言

○教育長

午後3時30分 開会を宣言する。

これより、1月教育委員会定例会を開催いたします。

本日、報道関係者より委員会を撮影及び録音したい旨の申し出がありますが、これを許可することにご異議ありませんか。

(異議なし)

それでは、許可することで決定いたします。

会議録署名委員の指名

○教育長

日程第1「会議録署名委員の指名」を行います。新潟市教育委員会会議規則第11条により、会議録署名委員に齋藤委員及び中津川委員を指名します。

第2 付議事件

○教育長

次に、日程第2「付議事件」に入ります。

議案第27号新潟市スポーツ推進計画第3次「スポ柳都にいがた」プランに対する意見についてですが、当該プランの概要につきましては、先の12月定例会協議会におきまして、スポーツ振興課から説明がございました。教育委員会の皆様からはご意見をいただいたところです。今後は、市長部局におきまして、いただいた意見に配慮しながら最終案を決めていくことになろうかと思いますが、今定例会におきましては、市長へ提出するプラン全体に対する教育委員会としての意見を付議されていることから、説明につきましては、教育総務課からお願いしたいと思っております。

○教育総務課長

それでは、議案第27号新潟市スポーツ推進計画第3次「スポ柳都にいがた」プランに対する意見について、ご説明をさせていただきます。

この度、付議する議案は、新潟市のスポーツ推進計画第3次「スポ柳都にいがた」プランの策定にあたり、スポーツ基本法第10条第2項の規定により教育委員会の意見を求めるものであり、その意見をいただくというものでございます。根拠規定の条文は、資料に記載のとおりとなっております。

続きまして、意見案でございます。新潟市スポーツ推進計画第3次スポ柳都にいがたプランは、本市のスポーツ推進計画として適当と認めるという、これも教育委員会の意見とするもので、これにつきましては、前回の平成26年に策定いたしました、第2次スポ柳都にいがたプランの作成時と同じ内容の意見となっております。なお、この件につきましては、12月の教育委員会定例会の協議会におきまして、計画案についてのご意見を委員の皆様から頂戴したほか、別途意見募集を行い、いただいた意見及びその場での回答につきまして、担当課がまとめたものを別紙参考資料として添付をさせていただいたところでございます。いただいたご意見につきましては今後、当計画を策定検討委員会及びスポーツ推進審議会で諮るうえで参考にさせていただき、計画の策定に取り

組んでいくということでございます。

また、計画案につきましても、参考資料として添付しておりますが、12月定例会協議会時の計画案から大幅な修正や変更は特になく、プランの中での第5章の部分でございますが、参考資料につきましては、プランのほうにはまだ記載はないのですけれども、第5章に関しては第2次計画での取組み事業や第3次計画の成果指標の裏付けデータについて掲載をするもので、計画の内容に関する資料として策定を進めていくということでございます。

つきましては、新潟市スポーツ指針計画第3次スポ柳都にいがたプランについては、本市のスポーツ推進計画として適当と認めるものとして、皆様からのご承認を得ようとするものでございます。説明は以上となります。よろしくお願ひいたします。

○教育長 ただいまの説明にご質問やご意見がありましたら、ご発言を願ひます。

○田中委員 お願ひいたします。意見への回答ということで、7項目にわたってご回答をいただいたわけですが、ざっと見た限りでは、この回答が、先ほどのお話ですと、このプランに反映しているわけではない、修正したわけではないということですよ。

○教育総務課長 これにつきまして、ご意見を今後、参考とさせていただきますけれども、プラン自体には変更はないという形になっています。

○田中委員 そうすると、ここに回答として出ているものについては、プランの文言は変わっていかないけれども、今後具体的に進めていく中で、それらを加味しながら具体化されていくということよろしいでしょうか。

○スポーツ振興課長 スポーツ振興課の寺尾でございます。こちらのご意見につきましては、こちらのスポーツ推進計画案については、引き続きまして1月26日にスポーツ審議会を予定しております。再度そちらの案をお諮りするのですが、その際に教育委員の皆様から、前回の協議会での質疑でこのようなご意見をいただいたということで、そちらで審議会の委員の皆様から、この意見を踏まえて最終案をご審議いただくというような段取りになっています。

○田中委員 分かりました。

○教育長 ほかにございますでしょうか。

よろしいでしょうか。それでは、議案第27号については承認することよろしいでしょうか。

(異議なし)

それでは、そのように決定いたします。

第3 報告

○教育長 次に、日程第3「報告」に入ります。はじめに「新型コロナウイルス感染状況について」、保健給食課・学校支援課から説明をお願ひいたします。

○保健給食課長 それでは、今お配りした、新型コロナウイルスの感染者及び学級閉鎖

の状況について、ご報告申し上げます。

資料をご覧のとおり、上段が新規感染者数になっております。折れ線の、市内全体の新規感染者の状況は急増しました 11 月以降、増加傾向が続いてまいりましたけれども、年を明け今月に入り、減少傾向が伺えているものの、まだまだ高止まりの状況でございます。

青の棒グラフの市立学校園の児童・生徒の感染状況も、12 月には 200 人、300 人を超えた日もありましたけれども、年末から児童、生徒の新規感染者数が減少傾向でございます。

下段の学級閉鎖等の状況になります。いわゆる第 8 波の中で、11 月、12 月と学級閉鎖も増加しておりましたが、近日の感染者の減少傾向に伴いまして、学級閉鎖の数も減となり、今日現在では 5 校で学級閉鎖を行っているところでございます。

また、この表は新型コロナウイルスの感染症のことですけれども、インフルエンザの感染もすでに県内では流行期に入ったということをされております。やはり、感染の増加傾向にございまして、先週の金曜日時点で市内 132 人の児童、生徒の罹患ということの報告を受けたところです。インフルエンザによる学級閉鎖は、先週末から昨日までで 1 校で行っていたところでございます。

これから、進級、進学に向けた時期を迎えます。引き続き、インフルエンザとの同時流行を懸念される中、教育委員会や学校としても基本的な感染症対策を継続し、子どもたちの健康を守りながら学びが継続できますよう警戒しつつ、対策に努めてまいりたいと考えております。

○教育長

ただいまの説明に、ご質問やご意見がありましたら、ご発言をいただければと思います。

よろしいでしょうか。それでは、次に、令和 4 年度新潟市二十歳のつどい実施報告について、地域教育推進課から報告をお願いします。

○地域教育推進
課長

地域教育推進課の後藤でございます。

今、資料を配付いたしております。それでは、1 月 8 日に開催しました、「令和 4 年度新潟市二十歳のつどい」について、報告をさせていただきます。

参加人数ですが、区分けは昨年度、一昨年度と同様で運営しました。ここに書いてありますように、合計で 3,506 名のホールへの入場者でありました。

2、新型コロナウイルス感染症の取組みについてですが、過去 2 年間の実施の成果を踏まえて、そこに少し工夫を加える形で運営をいたしました。いくつか列挙してありますが、その中で、昨年度から行ったものが上から三つ目の専用アプリ「テレサ」によって、事前の参加登録の実施を行っております。ここに当日の体温等を入力をして、QR コードをかざすことでスムーズな入場ができております。併せまして、アプリを活用することによって、LINE に加えましてテレサでも注意喚起、感染症対策の

ことであるとか、待ち合わせ場所等にかかわる連絡などを行いました。

また、下から三つ目になります。これも昨年度からの取組みですが、2階の階段付近から入場口までをぐるっと囲む形でパーティションで仕切りまして、並びながら整列入場ができるようにいたしました。そのほかの感染症対策は、令和2年度からの継続でございます。

当日の様子です。アプリテレサで、式典当日の体調と体温を入力するとQRコードが発行されます。これをかざして入場してもらうことで、スムーズにホールへの入場というものができるようになりました。また、ロビーの混雑を回避するため、開場時間を昨年度と同じ時間になりますが、約15分間繰り上げて中に若者たちを入れるようにいたしました。

また、昨年度から若者へのメッセージということで、新潟のよさに目を向け新潟を誇りに思う。そんな心持ちを育てるためにも、何か若者に向けたメッセージを発信する方を講師として招くことができないかということで、昨年度の渋谷修太さんに続きまして、今年度は、FlagsNiigata代表の後藤寛勝様よりお話をいただきました。

昨年度と同じように、非常に若者の心にダイレクトに迫るお話で、自分の目標に向かって諦めずに進んでいってほしいという力強いメッセージ、エールをいただきました。参観者の若者は、ステージを見つめながらよく聞いている。そんな姿が大変印象的でありました。

なお、式典の様子ですが、当日 YouTube 配信で生で中継しました。また、1月いっぱいにはアーカイブで見られるようになっております。

4番目、広報関係はここに書いてあるとおりでございます。なお、今後のことですが、参加者、テレサの登録者に対しまして、開催時期などを含めたアンケートを実施する予定であります。

○教育長

ただいまの報告に、ご質問やご意見がありましたらご発言をいただければと思います

○畠山委員

感想ですけれども、今ご説明にありましたように、アプリとか LINE とかでいろいろ工夫されていたのだということを感じました。会場に行きますと、大勢だったのですけれども、二十歳のつどいで、入場した皆さんは落ち着いて移動をしていると感じました。

それから、始まって大勢だったので席に着けない状況はあったのですけれども、後藤さんの話になるとしんと静まりかえって、皆さんを見ると聞きいつていらっしゃったということをととても感じまして、つどいに集まった皆さんにとってとてもいいお話だったのだと、改めて感じさせていただきました。ありがとうございました。

○教育長

ほかにごございますでしょうか。先に五十嵐委員から。

○五十嵐委員

よろしくお願ひいたします。まず、一つ質問ですけれども、アンケートについてですけれども、これはテレサを活用してということですか、それとも違う何かで聞いているのですか。

○地域教育推進

テレサで誘導する形で、かんたん申込みのフォームに誘導して、そこ

課長

で答えてもらうようにいたします。ですので、登録者が実際の参加者より多く登録していますので、その方の中で第1部に参加、第2部に参加、参加はしていなかったという項目も含めて、幅広い若者から意見を聞こうと思っております。

○五十嵐委員

ありがとうございます。当然、その中でされるとは思うのですが、細かい改善点だとか要望みたいなものがきつとあると思いますので、ぜひその辺りを細かく聴き取りとか回収していただきまして、来年度の二十歳のつどいにぜひ活かしていただければと思っています。よろしくお願いいたします。

○地域教育推進
課長

ありがとうございます。自由記述も設けてありますので、そこを精査していきたいと思っております。

○五十嵐委員

よろしくお願いいたします。

○田中委員

先ほど、畠山委員のお話にもありましたけれども、本当に今年の参加された方々は整然とされ、市長、市議会議員、若者の話に対しても非常に真摯に耳を傾けていたと思うのです。5年、6年前を思い返しますと、常に後ろで動いている方がいまして、何となくざわざわしたような落ち着いた雰囲気が見られたのです。それに対し今年、みんな目線がステージに向いているということが感じられる素晴らしい会だったと思います。

それらを考えますと、もちろん参加された若者一人一人の心の持ちようは十分あるのだろうと思うのですが、やはり主催された事務局側のいろいろな工夫やら、あるいは若者に対する手立てが効いていてそういう結果につながったのではないかと思います。本当にご苦労様でした。

質問が1点です。今年、事前参加登録者が4,729人、実際の参加者が3,506人。これは事前登録の約74パーセント、4分3ということになります。昨年も同じくらいの割合なのか。それとも、今年は欠席される方が多かったのか。その辺何か分かりますでしょうか。

○地域教育推進
課長

今年の参加率よりも、昨年度の参加率は実際にホールに入った率が少し高く、昨年度は53パーセントとなっております。今年度は、大体48パーセントくらいになっています。大きな差はないのですが、やはり少し率から見ると、登録者から見ると少し下がっている形となります。この背景については、保護者の方とか関係者の方が登録しているということも、だれでも登録できる形ではありますので、そういったことが影響していたり、あるいは実際にホールに入らないで、受付を通らず上に待っているような若者もやはり一部おりますので、そういったところでの微妙なずれというものが出ていますと捉えております。

○教育長

ほかにごございますでしょうか。

○渡邊委員

私は、2部に参加させていただきました。人数制限をしているということもあると思うのですが、私も最初に参加をさせていただいたときはコロナ前だったので、やはり状況が違っていると実際に感じます。

2部制になってからは、その分やはり状況も違ってきているのではないかと考えていて、私が参加した2部は本当に落ち着いてくださっていたし、あと内容も、去年はお祝いの言葉をフラワーの渋谷さんのお話で、そのときも私もすごく感動してすごくいいお話だと思ったのですが、今回の後藤さんもととてもいいお話をしてくださった。やはり、こういう企画はととてもよかったのではないかと考えています。

あと、もう一つ。もし来年も同じようなことを考えていらっしゃるなら、ぜひ女性でも活躍している方がいたら、ぜひお話を聞いてみたいと思ったりもしました。ですので、やはりいろいろな企画の段階で大変なこともあるとは思いますが、内容的にもとても充実してよかったと思っています。ありがとうございました。

○地域教育推進
課長

講師の選定については、当課の職員と、あとは周辺の方からいろいろな方を紹介していただいて、その方を協議してあたっていく形としました。もちろん、その中には女性の方もおられました。今委員がおっしゃったように、当課としても来年女性にもお話をさせていただきたいと思っておりますので、またそういったことも含めて検討してまいりたいと思っております。ご意見ありがとうございます。

○教育長

ほかにございますでしょうか。

○五十嵐委員

よろしくお願ひいたします。先ほど、アンケートを回収されるという話を伺ったのですが、ぜひこれをとりまとめられたら、再度私たち教育委員にもフィードバックをしていただきたいと思います。やはり、各区の担当を持っているということもあるのですが、個別の方の問題なのか、それとも構造的にこういうことを地域にもっと呼びかけてもらえたら参加がしやすい。参加ができるというものがあつた場合に、そこをつなげるということも私たち教育委員の責務の一つであると思ひますし、ぜひできることはやつていきたいと思ひますので、フィードバックを1回設けていただければと思ひますので、よろしくお願ひします。

○地域教育推進
課長

承知いたしました。少し分析にお時間をいただきますが、また提示をさせていただきますと思ひます。ありがとうございます。

○教育長

ほかにございませんでしょか。

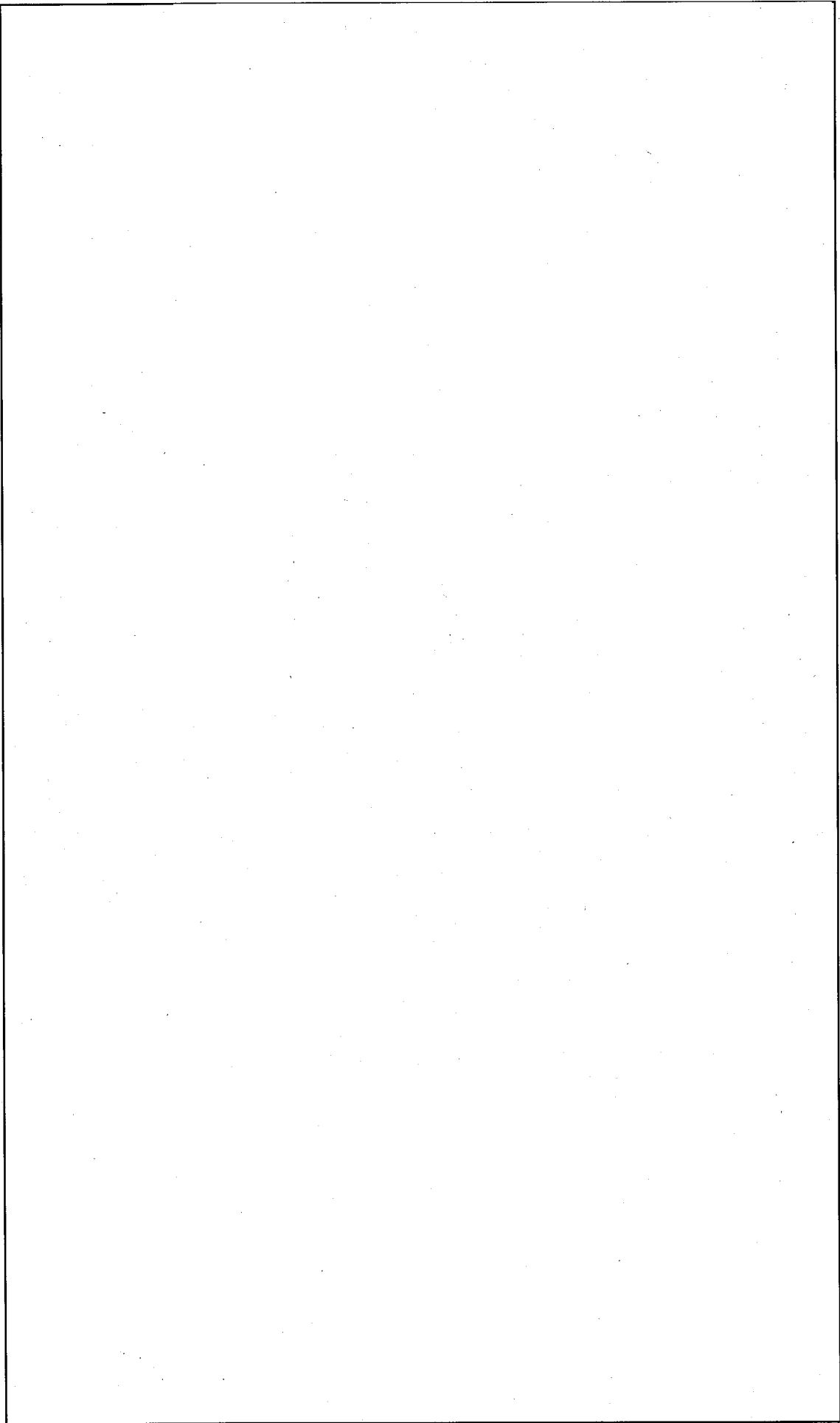
○大宮委員

よろしくお願ひします。大宮です。先ほどアンケートのところ、一応確認です。開催時期のアンケートということをお言されたと思ひますが、それは大体、今だと1月ですけれども、春先とか夏とか、そこまで含めた中でのアンケートなのか。どこまでのアンケートなのか、分かれば教えていただければと思ひます。

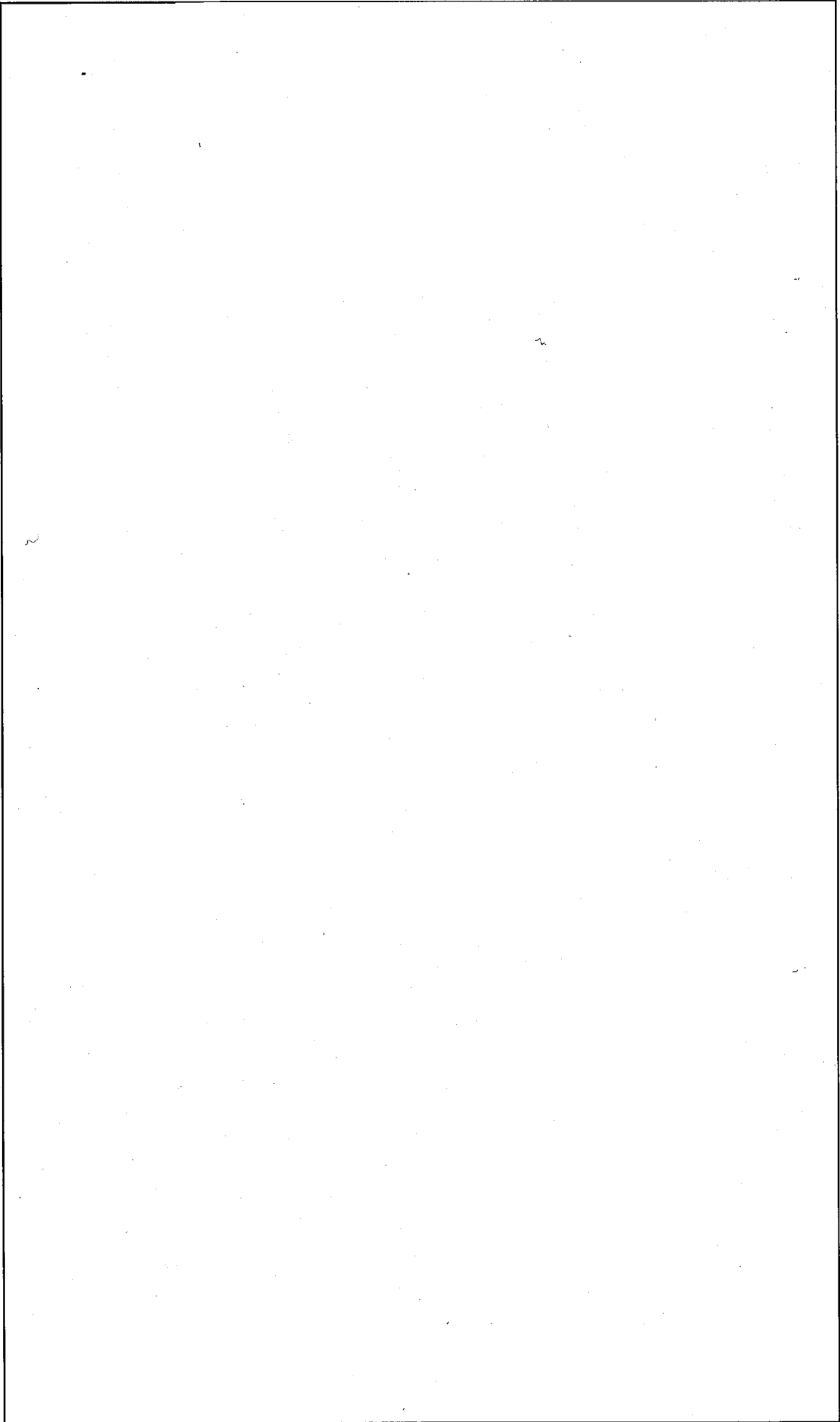
○地域教育推進
課長

本市の式典開催にあつて少し前になるのですが、およそ10年くらい前に実際の式典に参加する方にアンケートを取つた記録が残つております。その数値がもう古くなつていふこともあり、今回と考へていふのですが、設問の方向性としては1月の今の時期がよいか。それかゴールデンウィークがよいか、お盆がよいか、その他記述してくださいというふう

	えております。
○大宮委員	分かりました。
畠山委員	二十歳のつどいということで、今回からだったでしょうか。ニュース等で見ますと、全国の中には18歳で式を行ったところが数少なかったのですけれどもあったのですが、その辺のところの新潟市の考えが、どういところから二十歳のつどいにしたか、説明をお願いします。
○地域教育推進課長	ありがとうございます。民法改正のこういった動きがある中で、およそ4、5年前ですけれども、本市でいろいろな方に調査をしたり、いろいろな会議でご意見をもらったことがあります。その中で、当時検討している政令市ほとんどが、二十歳の開催だということも一部背景としてはありましたが、当時いろいろな方々に聞いたところ、やはり18歳ですと、進学や就職の時期と重なって、なかなかその時期は気持ちがそちらに向ききれないというご意見があったり、あるいは進学、就職があつて2年経てばおよそお互いの足元といえますか。立ち位置が大体見えてくるだろうということの議論があつて、今二十歳のつどいという形にしております。 ほかの政令市もほぼ同じ考えでやっていると同っております。
○畠山委員	ありがとうございました。ニュースなどでお聞きした理由もそのような内容だったなと思つて、今お聞きしました。ありがとうございます。
○教育長	ほかにございますでしょうか。よろしいでしょうか。 それでは、次の案件にまいります。次に、「令和5年度当初予算について」は、公表前であることから非公開といたしたいと思つていますが、ご意義ありませんでしょうか。それでは、公開案件の終了後に非公開案件として再開し、報告をさせていただきます。
第4 次回日程	
○教育長	続きまして、日程第4「次回日程」について、教育総務課から説明をお願いいたします。
○教育総務課長	次回の2月定例会につきましては、2月15日水曜日、時間は午後3時30分から予定しております。よろしくお願ひいたします。
第5 公開終了	
○教育長	それでは、以上で公開案件を終了いたします。
第6 定例会(非公開) 報告	
○教育長	これより、定例会を非公開といたします。 傍聴の方、報道関係者の方はここでご退席をお願いいたします。 それでは、これより定例会を再開し、報告に入ります。令和5年度当初予算について、教育次長から説明をお願いします。
○本間教育次長	(令和5年度当初予算について説明)



○池田教育次長



○本間教育次長

○教育長

○中津川委員

- 本間教育次長
- 学校支援課長

○中津川委員

○学校支援課長

○中津川委員

○学校支援課長

○中津川委員

○学校支援課長

○中津川委員

○教育長

○畠山委員

○学校支援課長

○畠山委員

○総合教育センター
所長

○畠山委員

- 教育長
- 齋藤委員

○池田教育次長

○学校人事課長

- 齋藤委員
- 教育長
- 乙川委員

○池田教育次長

○学校支援課長

○池田教育次長

○乙川委員

○池田教育次長

○乙川委員

○学校支援課長

○乙川委員

○池田教育次長

○学校人事課長

○乙川委員

○本間教育次長

○乙川委員

○教育長

○田中委員

○本間教育次長

○田中委員

○本間教育次長

○田中委員

○本間教育次長

○田中委員

○教育長

○五十嵐委員

○池田教育次長

○五十嵐委員

○特別支援教育
課長

○五十嵐委員

○学校支援課長

○五十嵐委員

○池田教育次長

○五十嵐委員

○教育長

○畠山委員

○特別支援教育
課長

○畠山委員

○池田教育次長

○本間教育次長

○畠山委員

○池田教育次長

○畠山委員

○池田教育次長

○本間教育次長

○畠山委員

○池田教育次長

○学校支援課長

○畠山委員

○教育長

ほかにございますか。

それでは、この点については終了させていただきます。

第7 定例会閉会

○教育長

以上で、定例会を閉会いたします。

以上、会議のてん末を承認し、署名する。

署名委員

齋藤 昭彦

署名委員

中津川 英子